

令和5年度（第2回）あわら市スポーツ推進審議会会議録

令和5年10月26日（木）
午後7時30分～午後8時50分
あわら市役所 101会議室

（会議日程）

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題
（1）あわら市民体育祭の今後のあり方について
- 4 その他
（1）今後のスケジュールについて

（出席委員）

吉田 昭博 高政 栄 戎 利光 細川 博治 山下 紀幸 永井 和廣
三上 進 荒川 誠 山岸 直樹

（欠席委員）

赤神 芳幸 松井 由起枝 達川 昌美 龍田 昌二

（委員以外の出席者）

教育部長、スポーツ課長、スポーツ課長補佐、スポーツ課主査

【開会】

教育部長 ～開会あいさつ～

【議題】（1）あわら市民体育祭の今後のあり方について

- 事務局 資料（アンケート集計結果）を説明。
- 会 長 アンケートの結果について、意見はないか。
- 委 員 市民アンケートの参加希望について、いいえが70数%と圧倒的に多く、やめようということによいか。
- 会 長 アンケートの集計結果には、「人集めができない」「参加者が固定されてしまっている」「強制的に参加させられる」とあり、強制的なやり方は今の時代にはあってないということ。しかし、その他には、「自由参加であれば」「楽しめるものがあれば」、「競争でないものであれば」という意見もあるので、コメント

の内容から検討してはどうか。

委員 方針として、何かを開催する前提に話をするのはいいと思うが、形態を変えて実施という意見は数がすごく少ない。純粋なアンケートの感触からすると、継続というのはおかしい。

会長 前回、委員から継続したいという意見をいただいたので、それを踏まえている。その他ないか。

委員 元区長や元体育委員に話を聞いたが、市民体育祭はやめた方がいいと言っている。どうしてもやりたいなら自由参加であればという程度で、市民体育祭そのものは、反対が大半である。私もやめた方がいいと思う。

副会長 アンケートの結果は目に見えていた。ただ、反対意見の中にやりたくない理由が何もない。「面倒くさい」「区長だったから反対」ではないのか。

委員 面倒くさいから反対というのも立派な意見の一つである。そのような意見が大半を占めていれば、やめた方がいいとなる。地域活動は非常に大事だが、様々な活動がある。例えば、賛成の理由に健康増進、ストレス解消とあるが、健康増進のために市民体育祭を開催するのではなく、あわら市内の他のイベントへ参加すればよい。親睦についても各地域で行事があり、ストレス解消についても同様である。つまり、そういう所へ行けば、充分解決するので、市民体育祭を開催することに消極的な意見が多いと考えるべき。

副会長 スポーツ協会としても、イベントを開催しているが、各支部からも人集めは大変だと返ってくる。だが、地区の人に聞くと、「そんなイベントがあったら出たい」と言うが、声がかかってないから出ていない。人集めは大変だろうが、区民全体に声をかけているとは思えない。

委員 人集めに苦労する、そもそもの原因は何か。市民体育祭ではなく、新しい考え方で、ニュースポーツを紹介する会や、市民文化祭と抱き合わせて、キッチンカーを呼んで、健康増進コーナーを設ける。まとめて出来るものを一つ作って、ニュースポーツや健康増進体操を広めつつ、宣伝をするという形はどうか。

委員 市民のアンケート集計表で、参加したくないと答えた人が多数という部分と、市民体育祭を運営するスポーツ協会でも反対意見が多いというのが答えだと思う。参加する参加しないという部分について、スポーツ少年団への加入も同じような状況。子供がいないのかというと、そうでもない。何もやってない子供も結構な数おり、それをどうやって取り込んでいくかが重要。ただ、参加してもらおうという部分が、今の時代非常に難しい。だから、参加してもらおうためにはどうするという部分を深く考えていかないといけない。

副会長 スポーツ推進委員の協力で、ニュースポーツ体験を開催しているが、集まるのは限られた人。本来ならば新しい人向けに開催しているが、役員だから仕方なく来る人しかいない。ただ、それでも強引に参加させる支部は集まっている感じがする。

委員 スポーツをすることはいいことだと思う。親睦にもなり、地域の方と触れ合

うこともできる。ただし、地区で何人とか強制が入ると、仕方ないから行こうになってしまう。これでは、本来のスポーツの楽しみを味わえない。参加したくないという人を無理に参加させるのは、目的に沿っていない。

副会長　しかし、声をかけてもらえないから参加ができない、参加したくても声がかからないという意見もある。

委員　それについては、広報で宣伝している。広報を見ればどこで何をやっているかが分かるはず。それで十分ではないか。個人的に電話して参加を依頼するというのは、やはり良いことではない。

委員　我々の地区は、昔から徴兵制の形なので、個人で手をあげて参加というのが難しいかもしれない。旧芦原町など大きい地区であれば、出たくても出られない人がいるかもしれない。

副会長　出たくないのに声がかかってしまったから仕方なく参加するケースもある。参加したいが声掛からなかった人、一人では参加が難しいという人もいる。その人達をどうしたらいいか。

委員　宣伝をすればよい。イベントを開催したが、人が集まらないという話はよく聞く。宣伝したのかと聞くと、人づてに集めているという話が多い。例えば、スポーツ協会で大々的に宣伝すれば、興味を持つ人がいるかもしれない。

委員　スポーツ祭の形態であれば、参加したい人がいると思う。しかし、体育祭になると勝ち負けがあり、勝てないから嫌だという人がいる。祭として勝ち負けがないなら誘うこともできるが、体育祭は勝ち負けがあるので誘いにくい。

委員　アンケートを見る限り、現状の形での市民体育祭の継続は難しい。集計結果を見ても、勝ち負けのない、競技性の低いイベントであれば参加してもよいとなっている。市民体育祭をやめるというのも寂しいので、方向性変えて、交流を深めるようにすればよいと思う。

会長　その他どうか。

委員　アンケート結果を公開することを考えると、非常に重いことをしたと思う。そう考えると、この結果を覆すだけの理屈がないならば、反対意見を取っていかざるを得ない。もう一点、新幹線開業で、盛り上がりようとしている中、面倒くさいという理由でやめてしまっただけでは、市は発展しないと思う。やめるのは簡単だが、10、20年後のあわら市を考えるとマイナスだとも思う。将来のあわら市を担う子供たちのために何らかの形で市民の集う場があればいいと思う。どうしたら参加者を集えるかという観点だが、学校体育祭は、コロナ禍で平日開催しているが、たくさんの保護者が見に来る。市民体育祭の中にふるさと教育の一環として市内の小中学校が参加するような場を設けると、保護者も参加すると思う。アフレアの開業一年前イベントの際、子供たちに出店を投げかけたところ、自主的に参加する生徒が多かった。体育祭も同じように考えられると思う。

委員　強制参加ではなく、自主的な参加であれば、本当にいいと思う。

委員 小学生の参加者確保も難しい。市民体育祭の時期はスポーツ少年団の試合でほとんどいない。

委員 子供の取り合いになるのは問題。

委員 子ども園の先生と話したが、最近の保護者は、休日に行事をしないで欲しいという方が多いとのこと。考え方の主流が休日は家族で過ごしたいとなっている。昔よりも、仕事を休めるようになっており、行事を休日に行わないようにしている。実際、坂井市の小学校は 2/3 以上が平日開催で、あわら市内の小学校も平日に移行すると思う。また、スポーツ少年団との絡みもある。土日だとスポーツ少年団へ行かないといけない。そう考えると市民体育祭も、実施できないと思う。人と人との繋がりは大変なので、市民体育祭ではなくイベントを開催すると良い。キッチンカーなどの美味しい飲み物や食べ物が食べられるようなものがあれば、より人は集まると思う。

会長 委員の意見では、アンケート結果からも従来の体育祭というのは無理だという意見が主だったものかと思う。そうすると、種目を変更しての取り組みをするのか、新たなイベントを立ち上げるかとなる。先ほどあったが、食をやれば必ず人が集まる。市民が行きたいと思えるイベントで、スポーツ振興も交える形を組んでみるといった案も考えられる。このことについて意見はないか。

副会長 イベント形式もいいが、どのくらいの集客が見込めるか。合併した時の市民体育祭は 1500 人程度の参加があった。新しいイベントはそのくらい集客できるのか。

委員 集客数に拘る必要はない。例えば、100 人参加して 100 人喜んで帰るのであるなら十分意味がある。集客数は気にせず、とにかく楽しめて参加者が生まれる。そういうふう考えた方が良い。

委員 イベント形式が良いと思う。ニュースポーツも取り入れながら、後につながるイベントにしたい。参加人数が増えて、結果的に健康増進やコミュニケーションにつながるようなイベントの選定があると良い。

委員 新たなことをやるので、集客数より喜んで帰ってもらい、その後につなげる方がよい。

副会長 新しくイベントを開催してもそれに対して、しょうもないという意見も出ると思う。

委員 それは変えていけばいい。

副会長 その都度アンケートをとって確認するのか。

委員 アンケートは客観的にわかるのでいいと思う。

会長 平成 24 年に運動に関するアンケートを取っている。4000 名を無作為に抽出して、1300 名程度の回答があった。スポーツをやりたいかやりたくないかという問いに対して、やりたくないという回答は 10%だった。その中の約 80%が、本

当はやりたいが何をしたいかわからないと答えている。この人達を惹きつけることが必要。

- 委員 一口にスポーツといっても、多様性がある。種目選定が難しい。
- 副会長 どこに焦点を合わせるかという部分でぶれる可能性もある。
- 会長 委員の皆さんの考えとしては、従来の体育祭形式ではなく、新たなイベントを開催するということによろしいか。
- 委員 スポーツフェスタのようなものを開催して、ウォーキングなど勝敗のない、競技性の低い種目をいれてもよいと思う。参加人数を支部のポイントにして競うというのも一つかと思う。
- 会長 競いたい人向けのコーナーがあってもいいと思う。
- 委員 自転車で北潟湖を周る目的には、親子でゆっくり景色を見ながら走りたい人や、時間内に何周したかなど競いたい人など色々な目的の人がいると思う。イベントの参加人数が100人でも50人でも問題はない。参加者に楽しんでもらい、次の年に別の人を誘ってもらえれば、続いていくと思う。
- 会長 一日開催ではなく、いろんな部門ごとで開催する方がよいか。
- 委員 一日に一種目というよりも、色々な種目に出たい人が集まる形態がいいのでは。たくさんの方がいることでモチベーションが上がると思う。安全面では問題が出てくるかもしれないが。
- 副会長 一括でやるならいいが、場所を変えると、スタッフ関係、役員関係が忙しくなる。
- 委員 場所が遠いことが問題ならば、近場で竹田川はどうか。
- 副会長 それでもスタッフを配置する必要はある。メダリストを呼んでの講演会であれば、参加人数を見込めるのでスタッフの数も少なくて済む。
- 委員 以前は何人ぐらい集まったのか。
- 事務局 300人程度。
- 会長 委員の考え方としては、従来の体育祭はアンケート結果からも無理であり、イベント系で進めるということによろしいか。これは決定ではなく、教育委員会に答申し、これに対して審議してもらおう形になる。
- 委員 このような形態のイベントを開催している市町はあるか。
- 会長 スポーツイベントは福井市が開催している。そこにはキッチンカーが出ており、集客効果は高い。
- 委員 事務局で全国的にこのようなイベントを開催している市町を調査してほしい。
- 委員 テレビ局の後援もあるといい。
- 委員 テレビ放送があれば市民はもちろん、他の市町からも来てもらえると思う。
- 会長 事務局からはどうか。
- 事務局 今後の方針は、一旦こちらで検討して、次回以降に提示させてもらいたい。

- 会 長 他市町の成功例を次回に提示頂けるといふことでよいか。
- 事務局 提示した上で、あわら市での形を示し、議論してもらいたい。
- 会 長 この場で種目を決めるのは無理だと思う。成功しているイベントがあれば、それらの種目やテーマを取り入れていく方向で検討したい。
- 委 員 食のイベントはいいアイデアだと思う。
- 会 長 食も健康増進や交流になる。
- 委 員 食とスポーツでイベントを開催してはどうか。それに加えてストレス解消を入れてもいいのではないか。
- 会 長 ストレスチェックのようなものもあるといいかもしれない。
- 委 員 創作の森だと地区の蕎麦打ち会が出てきている。保健所のチェックなど必要になるのか。
- 事務局 創作の森のクラフトマーケットなどは、開催の初日に保健所が入って現場確認をする。
- 委 員 そういふ方々も出店してもらえるといいと思う。
- 会 長 今後の予定について事務局どうか。
- 事務局 いただいた意見を基に、スポーツフェスタの成功例を提示し、あわら市として望ましい形を検討してもらいたい。開催時期については、12月中旬を予定している。

【閉会】

- 会 長 これで会議を閉会します。

午後8時50分閉会